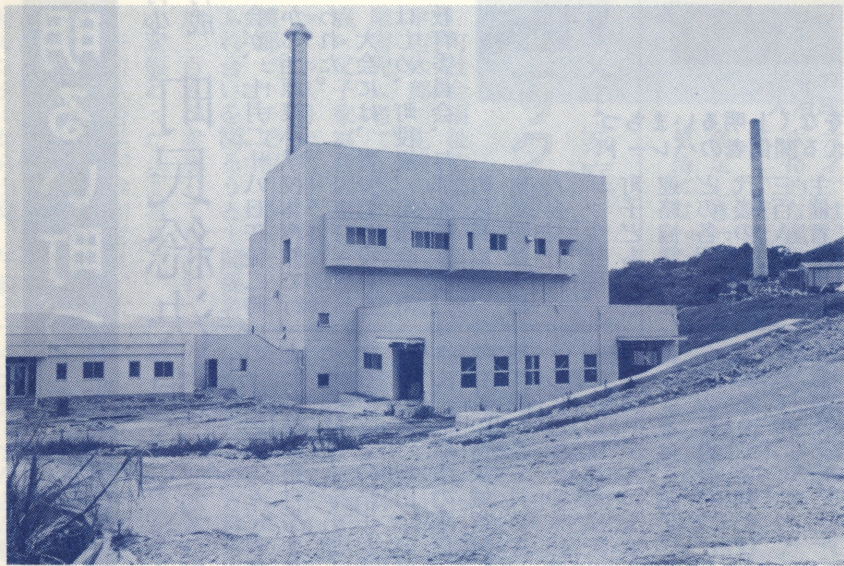


ゴミ処理工場ほぼ完成

東部清掃施設組合



このほど、ほぼ完成した新しいゴミ処理工場、1日90トンの処理能力を持つ近代的な施設、処理管理の合理化省力化が図られている

12月から試験操業

一日90トンの処理能力

東部清掃施設組合（管理者 宮平吉太郎）では、近年の生活の多様化、人口の増加等の社会情勢の変化に伴って生活廃棄物の増大に対応でき美しい環境づくりに役立てようとして昭和五十八年六月から一日九〇トンの処理ができるゴミ

処理工場の新築工事を進めていたが、このほどその工事がほぼ完成し、今年の十二月一日から試験操業を開始し、来年の三月二十日に引き渡しをすることになった。

現在の処理工場の処理能力は、一日二五トンだが、西原、

与那原、佐敷の三町から出される燃えるゴミは、年間六七三六トン（昭和五十八年）、一日平均処理量二・三・六トンであり、近い将来、増大しつつあるゴミの処理に対応できなくなることを見越して、新しい時代に即応した近代的なゴミ

与那原、佐敷の三町で三分の一ずつを負担している。建物の延面積は、二七一一平方メートル。焼却炉は、処理能力一日四五トン（一六時間当たり）の二基。

新しい処理工場の特長は、①中央制御操作室があり、近代的な設備が施され管理の合理化省力化が図られている。②煙突が県下ではじめてモダンな八角形になっており、「チ

リ捨て場ではなく、ゴミの性質に応じて処理するところ」ということを印象づけ、イメージアップを図っている③露天積がなくなり、ゴミピットにためてから処理される④余熱を給湯や冷暖房に利用している⑤雨水を利用してプラントの冷却水に使用しているなどである。今までのものと比べて衛生的であり、あらゆる面で経費節減の工夫がなされたりっぱな施設である。

工場内には、プラントホーム（収集車が入り出すところ）、ゴミピット、ゴミを焼却炉に投入するためのクレーン操作室、ゴミ投入口、焼却炉、中央制御操作室、職員控室・浴室、管理棟などがある。

不可燃物

分別収集、各家庭で徹底を

一人の不注意が公費のムダ使いに



燃えるゴミの中に空き缶等が混入すると公費のムダ使いにつながります

町保健衛生課及び東部清掃施設組合ゴミ処理工場では、再三再四ゴミの分別、ゴミの出し方を住民各位に御協力をお願いしているところでありますが、最近の本町でのゴミの出し方のマナーは悪くなっていると言われている。

燃えるゴミの中に空き缶、空

びんなどの燃えないゴミが混入していたり、ある収集場所では、収集日でないのにゴミ袋が積み重ねられ、夜間騒音を問わす犬や猫に食いちぎられて非常に苦しく、心ない人のゴミの出し方に地域住民からひんしゅくを買うというようなどもありました。

ゴミ処理工場では、ゴミの性質によって燃えるものは、焼却し、燃えないものの中の金属類はプレスして業者に売却し、ガラス類等は破碎して埋立に利用しています。そこで燃えるものの中に燃えないゴミが混入しているとゴ



発行人
西原町役場
〒903-01
西原町字嘉手苅112番地
電話(09894)-5-4533
印刷
光文堂印刷

町の世帯・人口
(昭和59年7月末現在)
世帯数 5,797世帯
人口 20,396人
男 10,486人
女 9,910人

7月の人口移動
出生 41人 死亡 9人
転入 141人 転出 74人
婚姻 6件 離婚 3件

処理工場の建設が進められた。新しい処理工場の建設場所、与那原町字板良敷一六一番地の現在の処理工場と同じ敷地内。総工費は、一九億三八二六万円、内九億二五三万七千円は国庫補助金、七億九五一〇万円は年金積立金還元融資資金で、残りの二億一七七七万三千円は西原、与那原、佐敷の三町で三分の一ずつを負担している。

処理工場では、ゴミ袋を一つ一つ開けて混入してきた燃えないゴミを職員の手で抜き取ることは、ゴミの量が膨大であるため不可能でありますので、燃えるゴミと燃えないゴミの分別収集は、出す側の住民各位に御協力をお願いしているところであります。

みんなで明るい町づくりを

第4回青少年健全育成町民総決起大会

青少年健全育成運動の定着を図り、みんなで明るい文教の町づくりを推進しようとして町青少年健全育成協議会（会長宮平吉太郎）主催の第四回青少年健全育成町民総決起大会が、七月二十八日午後二時から西原東小学校体育館で行われた。



青少年の非行をなくし明るいまちづくりを—と訴える関係者のパレード

大会には、青少年協の役員をはじめ、町役場、町議会、町教育委員会、与那原警察署、町区長協会、町更正保護婦人会、町スポーツ少年団、町子ども育成連絡協議会などの各団体の代表の方々約三百人が参加。主催者を代表して宮平会長

のあいさつを受けた後、各団体で多年活躍されご功績を残された方々と善行のあった児童生徒の十六名の方々に表彰状が、また多額の寄付をされた団体に感謝状がそれぞれ贈られ、参加者から絶大な拍手が送られた。その後、坂田小の垣花美帆さん、西原中の平良一君、西原高校の真栄城哲君ら児童生徒代表から意見発表が行われ、さらに西原小の米須清富教諭、西原中の玉那覇康夫教諭、西原高校PTAの玉城信男ら代表による現状報告もなされ「青少年健全育成は、社会問題であり、学校だけに限らず家庭でのしつけと教育が急務であること」などを提起した。



病気の早期発見の為住民検診

青少年を取り巻く事象がかなり具体的な形で発表、報告がなされ、参加者の方々は、驚き、認識を新たにしました。また、親泊議長、仲宗根教育委員長、久高与那原警察署長の激励のあいさつ、大会宣言

の十六名の方々に表彰状が、また多額の寄付をされた団体に感謝状がそれぞれ贈られ、参加者から絶大な拍手が送られた。その後、坂田小の垣花美帆さん、西原中の平良一君、西原高校の真栄城哲君ら児童生徒代表から意見発表が行われ、さらに西原小の米須清富教諭、西原中の玉那覇康夫教諭、西原高校PTAの玉城信男ら代表による現状報告もなされ「青少年健全育成は、社会問題であり、学校だけに限らず家庭でのしつけと教育が急務であること」などを提起した。

日までに学校や職場で受ける機会のない十六歳以上の町民を対象にした「住民一般検診」と「胃ガン検診」を行った。町民の健康に対する関心も高まり、一般検診一〇八人（昨年の二八・八増）、胃ガン検診三六九人（昨年の六〇・四増）の受診者があり、かなりの成果を納めた。

今年からはじめて検診に先立ち、六月二十日から七月十三日にかけて各字公民館で町保健婦によって「健康教育」が行われており、その影響もあり病気の早期発見に対する認識も深まった。

町内には、二九〇〇人の対象者がいると言われ、それからすると受診率は三八・二%しかなくまだまだ少ない。町保健衛生課では、今後とも町民の健康増進を図っていくために健康教育などを通してねばり強く「早期発見、早期治療」に結びつける健康指導を行っていくことにしている。

決議などがあり、さらに大会終了後、西原東小から西原中までのコースで広く町民に青少年健全育成に対する協力と理解を呼びかけるためのパレードを行い、成功裏に全日程を終えた。

なお、今回表彰された方々は次の通り。

- 功労者（十名）
 - 小波津秀市（西原小PTA）
 - 知花優（西原小教諭）、稲福恭助（前坂田小PTA会長）、鍛本末継、宮平貞子（以上西原中PTA）、城間富子（婦人会）、万里崎英広（町体育協会）、宮里憲幸、西野朗（以上西原東小教諭）、宮里政昭（前西原中教諭）
- 善行児童生徒（六名）
 - 石原貴、呉屋奈都子、伴根地晶子（以上西原東小）、比嘉和香子（西原小）、比嘉和枝（坂田小）、儀間陽登美（西原中）
- 感謝状（一名）
 - 島尻青年会議所

※（一）内は所属

大

会

宣

言

戦後、我が国は、あらゆる面において目覚ましい発展を遂げ、国際社会の一員として重要な役割を担い、世界に果たすべき責任は益々重大になってきております。また、その反面、我が国に対する世界の目は、私達の想像する以上に厳しくなっており、貿易、経済協

力等の分野のみならず国際社会の中でも我が国への期待と要請は、一層強くなっております。

このような中でも「教育は国家百年の大計」と言われるように、豊かな教養と高い知性を身につけ、新しい時代を創造する青少年の育成は、教育の使命であり、大人の責務

であります。しかしながら、多くの青少年が健全に育っている一方、非行を始めとする青少年の問題行動が依然として増えていることは、誠に憂慮すべきこととあります。これら青少年の非行問題行動の背景の原因

については、家庭における育成、学校における教育指導のあり方、青少年を取り巻く社会環境などが複雑に絡み合っていると考えられますが、とりわけ、社会の単位である家庭の基盤が揺らぎ、礼儀、責任感、正直さ、兄弟愛、隣人への親切、奉仕の精神等、人間として生きるために必要なことが不十分となっており、これが問題ではないかと思われ

ます。昔から「親はこの鏡」と言われているように青少年の成長期にとって一番身近にある家庭がその人格形成に大きく影響を与えるものであります。

この意味で特に、家庭における親の在り方について、今一度考え直すとともに、家庭の親、学校の先生、地域住民が相互に連携を深め、地域社会全体で良好な育成環境をつくるよう努力することが大切であると考えます。

ここに、私たちは、日常多忙の中でも、家庭を中心にして、地域社会の連携を密にして、「他人の子も我が子」の愛の一声が絶えず聞える文字ど

導を行っていくことにしている。また、毎週月曜日に町役場保健衛生課で、木曜日に社会福祉センターで「健康相談」を行っていますのでお気軽に相談を受けて下さい。

国民年金
第二分納付月
今月は保険料

昭和59年度国民健康保険税第3期納期は9月末日まで
早目に納付をお願いします

在宅ねたきり老人に

入浴サービスを開始

【小那覇】ねたきり老人介
護研修会での在宅ねたきり老
人をかかえる家族の要望を受

【小那覇】ねたきり老人介
護研修会での在宅ねたきり老
人をかかえる家族の要望を受



在宅のねたきり老人のために老人ホームの
入浴施設を開放＝守礼の里

入浴第一番目に
なった字翁長の金
城カマドさん（八
六才）は、久々の
本格的な風呂を浴
びて、恵比寿顔。
満足しきっていい
気持ちになったせい

守礼の里

か、入浴後しばらく熟睡。町
内で第一号の老人ホーム内で
の入浴とあってカマドさん
は、少し緊張きみであった。
守礼の里では、毎週二回、

身体障害者 共同作業所を視察

設置を目指して活動

町心を身障害者
育てる会

町心身障害児者を育てる会
（知花正勝会長、会員三十七
名）では、七月二十五日、精
神薄弱者及び身体障害者の共
同作業所を見学することによ
りその設置に向けて準備を進
める上で参考にしようと一関
係者二十四人の参加の下に
「共同作業所の視察」を行っ
た。

午前九時、町役場を出発
し、ひまわり共同作業所（宜
野湾市社会福祉センター内）、
がじゅまる共同作業所（沖繩
市社会福祉センター内）、読
谷かりゆし学園（読谷村総合
福祉センター内）を巡回し、
所員の作業風景の見学や所長
との懇話会などを行
った。

各作業所の所長か
ら経営主体、設置ま
での経過、目的、指
導者、授産種目、入
所の対象、日課、運
営にかかる費用、所
員の給料などの概要
説明、運営の実情等
を間近に聴いて参加
した方々は、職員
のご苦労に対し感心し
ている様子であった。
概して作業所では
ポロ切れづくり、割
ばしの包装、タオル
の包装、さつまいも
とそ菜の栽培、社会
福祉センターの清掃、ティ
シュースづくり、運動広場の
清掃、セメント製の鉢づくり
、人形づくり、陶器製のル
ープタイ・ペンダントづくり、

身体障害児・母子・父子家庭
合同激励ピクニック賑わう



町社会福祉協議会（会長宮
平吉太郎）主催の第一回心身
障害児（者）家庭・母子家
庭・父子家庭合同激励ピクニ
ックが八月十六日、宜野座村
漢那ビーチで相互理解と心の
ふれ合いを図ろうと一関係者
約二百人が参加して行われ、
大変賑わった（＝写真）。

午前八時半、参加者は、大
型バス三台、町社協のマイク
ロバス一台に便乗して社会福
祉センターから出発、午前十
時に漢那ビーチに到着した。
開会式では、準備体操、趣
旨説明、花城朝勇氏（民生・
児童委員協議会総務）による
激励のあいさつなどがあつ
た。

その後、水泳、昼食（バー
ベキュー）、海浜での宝さが
し、新川千代子さんの指導に
よる団体レクレーション、す
いか割り、のど自慢大会など
があり、参加者にとって有意
義で楽しい一日となった。

読谷かりゆし学園での
概要説明会



協力され奮闘した。
例年は、心身障害児（者）
家庭と母子家庭は、別々に激
励ピクニックを行っていた。

このピクニックでは、町社
協職員をはじめ民生・児童委
員、町福祉課職員、高校生ボ
ランティアなどが裏方として

空き缶の投げ
捨ては困ります

県道38号線
沿道を清掃

県では、空き缶、散乱防止
強化月間（八月）に先だち、
七月二日午後二時から沖縄市
宮路上競技場で空き缶公害を
一掃して、きれいなまちづく
りをしようと、中部市町村か
らの多数の方々の参加の下に
空き缶散乱防止決起大会を行
った。



山羊の飼育、古紙回収等々の
仕事をしている。
設置の目的は、「精神薄弱
者に作業を通して、自活に必
要な指導訓練を行い収入を得
させるとともに、基本的生活
習慣を身につけさせ、自立と
社会性を養う（読谷かりゆし
学園）」としている。
この目的に沿って毎日毎日
指導員と所員との間にいきい
きとした活動が進められてお
り、元気がいい仕事に取り
組んでいた所員たちの顔が大
変印象的であった。

寄付御礼

七月二十一日、大里村字仲
間九三番地の島尻青年会議
所（呉屋博義理事長、会員四
十四名）から町青少年健全育
成協議会に「青少年の健全育
成のために役立てて下さい」と
七月十六日に開かれた第一
回青少年健全育成チャリティ
ーゴルフ大会の収益金の中か
ら十萬円の寄付がありました。
この紙面をかりて同会の御
厚意に感謝いたします。

町でも、その日、県道38号
線の沿道で町職員二十人が空
き缶拾いを行い、ピクアッ
プ車一台分の空き缶を回収
し、参加者達は、空き缶の投
げ捨ての多いこととモラルの
低さにあきれている様子であ
った（＝写真）。

琉球コンクリートが初優勝
町商工会ソフトボール大会
各事業所間の親睦を図ろう
と一町商工会（会長城間三郎、
青年部長呉屋政富）主催の第
一回職場対抗ソフトボール大
会が、八月五日午前八時半か
ら西原中、西原小、西原東
小、西原高校などの四グラウ
ンドで十六チームが参加して
行われ、熱戦の末、琉球コン
クリートが金秀物産を7対6
で下し初優勝した。

戦時下の島尻への

避難経路を調査

町史戦争専門部会

「町史戦争編」の編さんを進めている町史編さん委員会（平敷静男委員長、城間光雄戦争専門部会長）では、八月十六日、「沖縄戦島尻方面への避難経路」の視察調査を関係者九人の参加の下に行った。その日、小那覇二八六番地の玉那覇文彦氏と我謝六七五番地の小橋川要好氏が案内に当たった。

午前十一時に町役場を出発し、旧村役場、小波津の友



最後に将兵や一般住民らが捕虜となつた所。糸満市喜屋武の海岸

軍陣地跡、池田ヘンサスク、運玉森、作戦道路（池田から南風原町大名に抜ける道）、南風原町の宮平、兼城、南風原陸軍病院跡、神里、東風平町の友寄、東風平、世名城、八重瀬嶽、糸満市の高良、与座岳、真栄平（敗残兵による住民虐殺があった）、米須、摩文仁（沖縄戦終えんの地）、喜屋武岬、ギーザバンタ海岸などの避難から米軍に捕虜になるまでの経路を順を追って視察した。

婦人がん検診のお知らせ

※子宮がん・乳がん
町では、町内の婦人を対象に子宮がん・乳がんの検診を下記の通り実施します。多くの婦人が積極的に受診するようお知らせします。

日時 9月6日（木）
9月13日（木）
9月20日（木）
いづれも午後1時～3時

ペルー・カニエテ

移民船の棧橋今も残る

明治三十九年に沖縄県からのペルー移民（契約移民）がはじまったが、契約移民が廃止される大正十二年まで使われていたというペルー国カニエテ（リマ市の南方一三〇キロメートル）に現在も残っている移民を運んだ移民船をつなぎ止めた棧橋をこのほど、与那城二四六番地の城間英助氏が撮影し町史編さん委員会に提供した。契約移民時代の思かげを残す唯一のものだけに貴重な資料である。



契約移民の悲惨な歴史を物語る棧橋（右＝城間氏）

場所 中央公民館
料金 それぞれ自己負担
400円。

なお、詳しいことは、町保健衛生課（電話五一九二三五）にお問い合わせ下さい。

方にも利用できるようにしている。

また、同委員会では、島尻への避難に関するその他諸々の情報を収集しておりますので町民の皆様（戦争体験の方）のご協力をお願いいたします。

電話 5-5661
5-4533

常任統計

調査員募集

町では、国の指定統計調査等を行う常任調査員を募集しています。資格は、十八歳以上で高校卒業以上または同等の学歴を有する方。ただし公務員は除きます。

町企画課では、今後、国の指定統計調査の調査員を広く町民から募集し、調査員名簿を作成し、登録順に調査に割当てる計画でありますので早目に御応募下さい。

詳しいことは、町企画課統

計係（電話五一四五三三、五一五六六二）までお問い合わせ下さい。

男子単は

森本が優勝

夏季テニス選手権

町体協（会長平安恒政）主催の第四回夏季テニス選手権大会が、七月二十二日、南西石油と中央公民館の両コートで三十四名が参加して行われ、四種目に熱戦が展開され大いに賑わった。

なお、決勝戦の結果は次の通り。

▼男子シングルス
森元勝弘 6-3 上原義人（琉大）（十区）

▼男子ダブルス
泉・新川 6-1 森・岡部（五区）

▼女子シングルス
新川綾子 6-0 平良ヨシ子（五区）（三区）

▼女子ダブルス
新川 6-2 漢 平良那

九区が初優勝

区対抗ソフトボール大会

町体協（会長平安恒政）主催の第一回区対抗ソフトボール大会が、七月二十九日午前九時から西原中学校グラウンドで十二チームが参加して行われ、九区が十五区を7対4で下し初優勝した。

また、三位決定戦では、十四区が八区を下した。なお、決勝戦の結果は次の通り。

15区 00220-4
9区 11411-7
十五区が優勝
第二回町ボウリング大会

町体協（会長平安恒政）主催の第二回区対抗ボウリング大会が、八月五日午後一時から宜野湾ボウル場で七チームが参加して行われ、熱戦の結果、十五区が優勝した。

一チーム男子三人、女子二人の混成により一人三ゲイムずつボウルを投げて総得点を競った。二位は十二区、三位は二区と続いた。

ゴミの収集日			
燃えないゴミ及び粗大ゴミ（週1回収集）			
収集日	対 象	区 域	
月曜日	8区、9区、10区、11区、12区 13区、14区、15区、16区、17区		
火曜日	1区、2区、3区、4区、5区 6区、7区、18区		

燃えるゴミ			
収集日	対 象	区 域	
月曜日	1区、2区、3区、4区、5区、 6区、7区、18区		
火曜日	8区、10区、13区、14区、15区		
金曜日			
水曜日	9区、11区、12区、16区、17区		
土曜日			

ゴミの分別		
燃えるゴミ	(イ) 台所から出る残飯、野菜くずなど	
	(ロ) 新聞、雑誌、ダンボール箱など	
	(ハ) カパン、くつ、バンドなど	
燃えないゴミ	(ニ) 衣類など	
	(ホ) シャンプーなどのポリ容器など	
燃えないゴミ・粗大ゴミ	(イ) 空カン、スプレー、ナベ、オモチャなど	
	(ロ) 空ビン、食器、ガラスなど	
	※空缶、空ビン等はふたは必ずとって下さい。	
燃えないゴミ・粗大ゴミ	(イ) テレビ、ベッド、冷蔵庫、洗濯機、ソファ、タンス、タタミなど	
	※重いので運搬に協力しましょう。	

思いやりゆずる心で防ぐ事故